

第 13 回

昔を！今を！今歌う会

昭和のにほんの歌&舶来ソング

～ カバーポップス黄金期の'60年代～

お話し・歌唱指導 酒井 沃子・安田 直弘
ピアノ 半澤 尚美



2012年5月23日(水) 開演 14:00

アートフォーラムあざみ野 1階レクチャールーム

■ 主催 今歌う会実行委員会

プログラム

第1部 にほんの歌

- | | | |
|--------------|---------------|----------|
| ・見上げてごらん夜の星を | 作詞：永六輔 | 作曲：いずみたく |
| ・高校三年生 | 作詞：丘灯至夫 | 作曲：遠藤実 |
| ・星のフラメンコ | 作詞・曲：浜口倉之助 | |
| ・潮来傘 | 作詞：佐伯孝夫 | 作曲：吉田正 |
| ・若いふたり | 作詞：杉本夜詩美 | 作曲：遠藤実 |
| ・白い色は恋人の色 | 作詞・曲：北山修・加藤和彦 | |
| ・おさななじみ | 作詞：永六輔 | 作曲：中村八大 |
| ・君といつまでも | 作詞：岩谷時子 | 作曲：弾厚作 |
| ・学生時代 | 作詞・曲：平岡精二 | |
| ・小指の思い出 | 作詞：有馬三恵子 | 作曲：鈴木淳 |



第2部 リメイクソング&合わせ歌などなど

- | | | |
|-----------------------------|-----------|-----------------------|
| ・情熱の花 | 訳詞：音羽たかし | 作曲：B.Botkin |
| ・ラヴァーズ・コンチェルト | 訳詞：藤公之助 | 作曲：S.Linzer・D.Randell |
| ・レモンのキス | 訳詞：みなみかずみ | 作曲：D.manning |
| ・昴(すばる) … 旅愁 | | |
| ・津軽海峡冬景色 … 北の宿
などなど などなど | | |



第3部 舶来ソング

- | | | |
|-----------|-----------|-----------------------|
| ・ヘイ・ポーラ | 訳詞：みなみかずみ | 作曲：R.Hidebrand |
| ・カレンダーガール | 訳詞：星加ルミ子 | 作曲：N.Sedaka |
| ・ルイジアナ・ママ | 訳詞：漣健児 | 作曲：G.Pitney |
| ・ヴァケイション | 訳詞：漣健児 | 作曲：G.Weston・C.Francis |
| ・可愛いベイビー | 訳詞：漣健児 | 作曲：B.Nauman |
| ・砂に消えた涙 | 訳詞：漣健児 | 作曲：A.Testa |
| ・知りたくないの | 訳詞：なかにし礼 | 作曲：D.Robertson |



♪ プログラム進行上、曲順、曲目等が変更になることがあります。
あらかじめご了承ください。

ご案内

～ カバーポップス黄金期の' 60 年代～

カバー曲とは、過去に他人がリリースした曲を別のアーティストが演奏することを、いいます。

そして、他人に詞・曲を提供したものを本人が歌うのはセルフカバーといえます。

「岸壁の母」といえば、二葉百合子。と今では誰もが思っているかも知れませんが、これは菊地章子のカバー曲です。



日本で、アメリカン・ポップスのカバー曲が初めてヒットしたのは、1951年（昭和36年）の「テネシー・ワルツ」（パティ・ペイジ）を江利チエミが、1952年（昭和37年）に「青いカナリア」（ダイナ・ショア）を雪村いづみが歌ったあたりでしょうか。

さて、本題の' 60年代ですが、ポピュラーミュージック界では大きな動きがありました。まずアメリカですが、' 50年代初頭からヒット曲を連発していた大スターは、パティ・ペイジ、ローズマリー・クルーニ、トニー・ベネット、ペリー・コモ、ナット・キング・コール等々、とても書ききれません。が、徐々にというか急激にエルビスなどのロックンロールの波に飲み込まれていきます。しかし、キング・オブ・ロックのエルビスの人気も徐々に落ちていき、代わって、若いそして才能豊かな、優秀なシンガーが続出しました。

ボビー・ダーリン、ポール・アンカ、ニール・セダカ、ブレンダ・リー、コニー・フランシス等々、今見直してもすごい面々ですね。

' 50年代、我々はラジオで、L盤アワー（コロビアレコード系）、S盤アワー（ビクターレコード系）でポピュラーミュージックを聴くのを楽しみにしていたものです。

が、日本もTV放送が本格化し、音楽番組を製作するとなると、ポピュラー・ヒットソングを日本人歌手に歌わせる（カバー）ことが当たり前になりました。日本のTV番組で毎週ポールアンカが歌う訳にはいかないからね。

当時、TVのヒットパレードなどでカバーソングを歌いまくっていたのが、弘田三枝子、九重祐三子、伊東ゆかり、中尾みえ、坂本九などなど。

当時の若者は（我々のことかしら）、♪ちゅうちゅうとれーん などと歌いながらは従来の主流であった、流行歌・演歌からかなり急激に離れていった気がします。

そして、その潮流は現在も変わっていない。そんな' 60年代でした。

さて、江利チエミがパティ・ペイジの「テネシー・ワルツ」を、雪村いづみが「青いカナリア」をカバーしたと冒頭に書きましたが、「テネシー・ワルツ」はピー・ウィ・キングがオリジナル、そして「青いカナリア」の原曲は、スラブ圏の古い民謡だとか。

カバー曲もなかなか奥が深いものがあります。

それにしても、淡々と' 60年代を思い起こしていますが、考えてみると随分昔のお話でございます。

<主要ニュース>

- '61 樺太犬タロー、南極から4年半ぶりに帰国。
- '62 テレビ受信契約数が約1000万件を突破。
- '63 日米間テレビ宇宙中継受信実験成功
(ケネディ暗殺ニュース受信)。
- '64 東京オリンピック開催。
- '65 ベ平連主催、初のデモ行進。
- '66 ビートルズ、日本武道館で公演。
- '67 吉田茂元首相没。
- '68 三億円事件。
- '69 NECがパソコン「PC9801」を発売。



プロフィール

酒井 沃子 Yoko Sakai

東京藝術大学音楽部声楽科卒業。数々のコンサートの企画運営に情熱を注ぎ、既成概念を破る印象的なステージ創りを次々と実現させている。コーラス4団体の主宰をし、個性を持った何処にも無いグループとして育てている。平成15年設立された、NPO法人「65歳からのアトラライフ推進会議」では、理事長として、青葉区から発信する音楽イベントを実現させ、多方面から注目を浴びている。「昔を今を 今歌う会」では、主宰・指導者として、地域の音楽に貢献している。

安田 直弘 Naohiro Yasuda

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。卒業後、シャンソン、ポップス、ソウルバンド等、長年演奏活動を続ける。NHK レッツゴーヤングの歌唱指導等で高い評価を得る。現在、歌手・俳優へのヴォイストレーニングでも活躍中。東海大学、文化学院大学非常勤講師。

半澤 尚美 Naomi Hanzawa ピアノ

桐朋学園大学音楽学部ピアノ科卒業。虎ノ門ホールにてデビューコンサート。県立音楽等楽堂にて横浜弦楽四重奏と共演。イタリア、シェナ夏期講習に参加。現在、昭和音楽大学および同大学付属音楽教室ピアノ講師として後進の指導にあたる。

スタッフ

- ・山本 桂子（事務局長）・丹羽 綾子（ステージコーディネータ）・坂野 義雄（事務・会場）
- ・藤本 裕（構成・プログラムデザイン） ・その他ボランティアの皆さん

★次回予告★

第14回「昔を！今を！今歌う会」

2012年8月12日（日） 開演 14：00（開場 13：30）
アートフォーラムあざみ野 1F レクチャールーム

お好きな歌・思い出の歌・今すぐにリクエストを！！

オペラ、歌曲、シャンソン、カンツォーネ、ジャズ、ポップス、
童謡、唱歌、フォークソング、民謡、演歌、他

- ・お問い合わせ／リクエスト先： オフィスバルーン Tel&Fax. 045-901-9914
E-Mail office_balloon@a00.itscom.net